



学生の皆さんへ

ー 研究科長・学部長からのメッセージー

大学院研究科長・学部長 林 英生

「大学」の目的の再確認

ちょっと堅い話ですが・・・

平成18年に改正された教育基本法に、大学の目的として「大学は、学術の中心として、高い教養と専門的能力を培うとともに、深く真理を探究して新たな知見を創造し、これらの成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与するものとする」と規定されました。ここには、学生とか教員、教育とか学習という言葉がありません。なぜでしょうか？なぜなら、「大学」は学生・教職員が一体となっているからです。上の文章の主語「大学」を「学生」と置き換えても、教員職員と置き換えても、矛盾なく読み取ることができます。

学生の皆さんは「大学」の一員です。「学生は、・・・」と読んで、大学での自分の目的を確かめ、それが達成できるように教職員と一体となって一層の精進をしましょう。



ー 学科長からのメッセージー

学科長 森 恵子

スポーツジャーナリストの二宮清順さんがこんなことを書いていた。ミスをしなない選手は超一流。失敗を成功につなげる選手は一流。責任を転嫁して失敗を繰り返すのが二流。三流は、自分が失敗したことすら気付かない。二流・三流でも指導者との巡り会いなどの機に一流になることがある。一番深刻なのは、四流で、「失敗を恐れてチャレンジしない」選手。皆さんは長い人生を走っている長距離ランナー、まだまだ、助走の段階、超一流をめざして走っていきましょう。

私は今、(社)岡山県栄養士会の会長です。会長を受けるにあたって、会員が一流の管理栄養士・栄養士になるために、「これだけしかできない」のではなく、求められる業務に果敢にチャレンジし、各の職場でなくてはならない人材になっていくお手伝いができる栄養士会にしていこうと考えました。まだまだですが、皆さんも卒業後はずいぶん栄養士会に入会し、超一流の管理栄養士をめざしましょう。



まなびピアへ参加して

助教 楊井 理恵

2007年11月2日(金)から6日(火)まで岡山県総合グラウンドにて「第19回全国生涯学習フェスティバル まなびピア岡山2007」が開催された。この「まなびピア」に3年生の栄養セミナーⅢの一環として、10月に行った公開講座を基に出展をした。9つのセミナーが11月2日から4日までの3日間に分かれ、「楽しく学ぼう 健康のこと たべものこと」と題し、遊びや実験、健康測定等の体験学習を実施した。幅広い年齢層の多くの方々に参加していただくことができ、私たちの体験学習の目的を少しでも果たすことが出来たのではないかと思います。また、参加してくださった方々の生活に役立つ、そして心に残る体験学習の場になっていけばと思う。



学生生活のひとこま

ー 大学院での生活についてー

大学院2年生 加賀田 江里

私は現在中国学園大学大学院に在籍しています。大学院では通常の講義の他に、修士論文の作成を行います。私は大学院で食品学について実験・研究を行いました。2007年10月には島根県で開催された家政学会中国四国支部大会で研究の成果について発表を行いました。また、学部の授業にもお手伝いとして参加しました。

大学院は大学に比べて授業数も少なく、自分が興味のあるものについて大学以上に深く研究する機会があります。また先生方や大学の学生さんと接することで、勉強以外にも多くのことを学びました。そしてそれは私の人生の選択に大きな良い影響を与えてくれました。大学院では大学とはまた違った様々な経験をすることができました。私は進学して良かったと思っています。

また、こうした文章を書くことで大学院も人生の選択肢の一つとして、これを読まれた皆さんの頭の片隅にでも置いてもらえたら嬉しいです。

ー 学校給食支援ボランティアを体験してー

学部4年生 石井美奈子、今村真末、大藪倫子、小倉由子、左子友愛、滝本祥子、横田佳子

私たちは、4月から9月までの週2回、岡山市立伊島小学校に学校給食支援ボランティアとして参加し、栄養指導や給食時の配膳の補助をしました。

最初は、栄養指導の経験が少なく不安でいっぱいでした。しかし、先生や児童は私たちを温かく迎えてくれました。

先生方の、私たちの指導への期待が大きかったので、期待に応えようと、クイズ形式やペープサートを使うなど、児童が楽しみながら学べるように工夫しました。最初の内は上手くできませんでしたが、回数を重ねるごとにその難しさを知ると共に自信へとつながっていきました。

媒体作りなど大変でしたが、校長先生はじめ先生方、児童にも感謝され、充実した活動ができました。



ー 人間栄養学科公開講座ー

学部3年生 小寺由里子

人間栄養学科の特色を活かし、心身の健康に関すること、食べ物や栄養に関することを楽しく体験的に学べ、地域の幼児から高齢者まで幅広い年齢層の方々が自由に参加できる公開講座を目指して大学祭と同じ10月20日・21日に行いました。

私は昨年、先輩の雑穀についての公開講座のお手伝いをさせてもらったのがきっかけになり、バイト先で食物(小麦)アレルギーの対応として、小麦アレルギーの方でも食べられるパン=米粉で作ったパンと出会い、ぜひ自分の公開講座で取り上げてみたいと思っていました。私たちのグループは少しでも多くの小麦アレルギーの方が食べることが可能なパンを知ってもらうことと、小麦粉のパンにはないもちもちとした食感を体験してもらいたいという思いで学習しました。地域の人たちを中心とした公開講座だったのでわかりやすい、身近なものとして説明を行いました。みなさんよく勉強されていたのもっと深い知識の提供ができたほうがよかったですと感じ、さらに専門的に勉強しようと思いました。



—2年生は中国学園農園で菜園実習をしています!!—



太田先生のご指導の元、さつまいもの苗を植えました。大きくな～れ!



小松菜、春菊、大根などの冬野菜の種蒔きをしました。寒い冬を頑張って乗り切って育ててね!



少し小ぶりのさつまいもですが、たくさん収穫ができました。



菜園で採れたさつまいもで収穫祭(お芋パーティー)をしました。先生方もご招待しました。メニューは大学芋です。みんなで美味しいポーズ

—吉備陵南まちかど博物館に参加—

吉備・陵南地区(JR庭瀬駅周辺)は、旧山陽道で鴨方街道とも呼ばれ、旧い家なみが今もなお残る風情のあるまちです。犬飼木堂や大賀ハスの大賀博士の生誕地でもあり、歴史的にも貴重な足跡が随所に見られます。そのまちで、11月4日(日)、暮らしの文化や歴史の宝に触れ、食べたり遊んだり休んだり、秋の一日を愉しめるイベントが開催され、1年生と2年生有志が扮装をほどこし参加し、イベントをおおいに盛り上げました。



卒業生からのエール

管理栄養士国家試験を控えた4年生に、昨年の卒業生が、それぞれの体験談を語り、アドバイスを与えてくれました。

豊田浩子さん(6月)、坊坂美咲さん(7月)、明関裕也君(12月、写真)の3人の話から、4年生は、それぞれの時期での勉強や自分に合った勉強方法などを見出す参考にし、本番に向けての新たな励ましになった様子でした。



中国学園大学公開セミナー記録

第27回 上島 孝久 教授 (平成19.5.23、16:30～、1301教室)
「動物の陸上適応と体液の水分・塩類調整」

第28回 永島 倫子 氏 (平成19.6.2、10:00～、M301教室)
岡山黒丸絵本研究會 主宰
拡大ブックトーク「絵本の中の食育」
内容は菅教授により、「しらさぎ」37号に紹介されています。



第29回 森脇 晃義 教授 (平成19.6.27、16:30～、1301教室)
「摂食の中枢制御機構」

第30回 川上 祐子 講師 (平成19.9.26、16:30～、1301教室)
「炎症性腸疾患の栄養療法に関する基礎研究」

第31回 真鍋 芳江 助教 (平成19.10.24、16:30～、1301教室)
「糖尿病マウス下垂体前葉における機能変化」

第32回 太田 義雄 氏 (平成19.10.31、16:30～、1301教室)
広島県立総合技術研究所 食品工業技術センター長
「地域特産野菜加工品の特性とその機能性」
「ピリッとした香味と歯切れの良い味」の広島菜漬について、その製造、加工、保存中にpH、温度、共存成分などが如何に作用するか、カラシ油配糖体の化学的変化を明らかにした。



また、広島菜の機能成分のカラシ油の生理作用として、抗菌性、血小板凝集阻害効果、抗癌作用、免疫調節作用(マクロファージの活性化・抑制作用)を説明した。さらに、味噌中のレジスタントプロテイン様物質の腸内細菌叢への効果等があることを解説した。

第33回 山中 奈都子、向坊 宣秀 氏 (平成19.11.24、16:30～、1301教室)

「米粉について」
「米粉を使ったXmasケーキ」山中奈津子 氏
米粉 Sweet くお～れ 代表
「米粉で彩る豊かな食卓」向坊 宣秀 氏
岡山県米粉食品普及推進協議会 会長

参加者は28名で、米粉に関心がある方や、ケーキ作りに関心がある方等参加の理由は様々でしたが、大学近辺の方や福山から参加していただいた方、学生、教員などでした。山中先生のご指導により、簡単に楽しく米粉を使ったXmasケーキを作ることが出来ました。それをお土産として持ち帰り、その日は皆さん1ヶ月早いクリスマス会を楽しまれたことでしょう。また、米粉で彩る豊かな食卓として、楽しいお話もありましたが、米粉の加工技術の推移や食糧自給率の問題など今後真剣に取り組むべき話題提供もありました。米粉の活用が食糧自給率向上や小麦アレルギーの患者さんの福音になればと思いつつ会を終了しました。(川上 祐子)



第34回 林 英生 教授 (平成19.12.5、16:30～、1301教室)
「最近の感染症の病原性と対策」

第35回 卒業予定者 (平成19.12.19、9:00～、M301教室)
平成19年度卒業研究発表会

第36回 菅 淑江 教授 (平成20.1.16、16:30～、1301教室)
「人と食のかかわりーこの複雑なものー」(最終講義)

第37回 松浦 康 教授 (平成20.1.16、16:30～、1301教室)
「インゲンマメペクチン性多糖類の化学構造に関する研究」(最終講義)

第38回 関 周司 教授 (平成20.1.23、16:30～、M301教室)
「DNA修復と遺伝子変異」(最終講義)

第39回 加賀田 江里 (大学院2年生) (平成20.1.30、15:30～、1301教室)
「大根を乾燥させることで起こる細胞壁多糖類の変質についての研究」(修士論文発表会)

第40回 上島 孝久 教授 (平成20.1.30、16:30～、1301教室)
「岡山の自然と天然記念物」(最終講義)

お知らせ

三宅さんの産休(11月19日出産)中、医療事務等の経験豊かな市原まりこさんにお世話になっています。さすがベテラン、一ヶ月足らずの引き継ぎで、上手につがなく事務処理をしていただいています。

